

雑 感

杉 本 新 平

大学の図書館は、大学に於ける教育・研究活動の重要な機関であると共に、昔も今も、単なる読書施設をこえて、人間のための百科辞典、すべての科学の宝庫、全知の教師たることが望まれております。従って豊富な文献や資料の蒐集、整理、保存は勿論、それらの利用の便宜が何よりも必要であります。その上、大学の図書館は、大学の任務にもとづき、研究図書館、学習図書館、総合図書館の役割を兼備し、いずれの一つも等閑にすることが許されないと思われます。

図書館の評価は蔵書の豊富さと共に、その蔵書構成の質の善さによると考えられます。それは個々人の蔵書と異なり、何よりもまず、各分野における基本書の完備でありましょう。図書館の充実発展は、ただに図書館だけの評価ばかりでなく、それを活用する教官、学生の、即ち大学自体の評価にもつながって参ります。

曾って私が在学した当時の旧制四高の図書室には、その入口あたりに、索引カードと共に、ガラス越しの戸棚に、今でいう参考図書のような本として、いろいろの本が、書名に見えるようにして、並べられてありました。例えば、「ギリシャ文明の潮流」とか、「善の研究」や「哲学入門」、或は、「正法眼蔵釈意」

など、いずれも此処で初めて、その書名を教えられた本でした。それらの本を、訳もなく、単なる知的好奇心から読んだのですが、そのときの新鮮な感激は今も忘れることが出来ません。

また、寮の読書室にも、余り多くではありませんが、備えつけの本がありました。ゲーテ全集やシェクスピア全集など、一年生の寮生活の間に、読んだことを覚えております。坪内逍遙の名訳による「マクベス」「ハムレット」「オセロ」「ヴェニスの商人」「リヤ王」などや、ゲーテの「詩集」「若きヴェルテルの悩み」「詩と真実」「ウィルヘルムマイスター」などは、この時に学習し、今もって懐しく思い出されます。たしかに読書は偉大な古人との対話であり、非常に多くのことを教えられるのでした。わけても若い時代の読書の感激と体験は、その人の人間形成に測りしれぬ深い感化があるように思います。私は大学で哲学を学びましたが、いつも文学に対する魅力をもち続けているのも、高校時代の読書の影響ではなからうかと、推察しております。図書館が学生のために知的好奇心触発の最上の場所になることを、私はひそかに期待いたします。

(教養部長)

富山大学附属図書館電算化システムについて (2)

参考係

V. 業務システム

富山大学情報処理センター
FACOM M-360

図書館
FACOM 9450-II

(1) 閲覧管理システム

(ア) 概要

本学図書館蔵書のうち、
本館開架図書 4万5千冊、
工学専門図書室の学生用

図書約5千冊に図書IDラベル(図1)を貼付した。貸出の際OCRハンドスキャナーにより利用者IDカード(図2)と図書IDラベルを読み取って本学情報処理センターにあるホストコンピューターの書誌・所蔵・利用者データベースと照合して貸出等の処理を行うシステムである。いわゆるトランザクション方式ではなく、書誌・所蔵データとリンクした在庫管理方式によるシステムである。

なお書庫内図書の貸出には、あらかじめ用意してある書庫内図書用の図書IDラベルを貸出のつど貼付して貸出処理を行っている。さらに昭和60年4月より受入られた図書も受入の際に新規図書用の図書IDラベルを貼付してコンピューターによる貸出を行っている。

図1 図書IDラベル

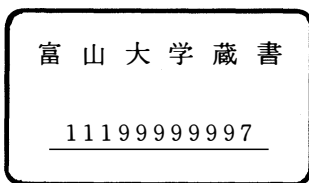
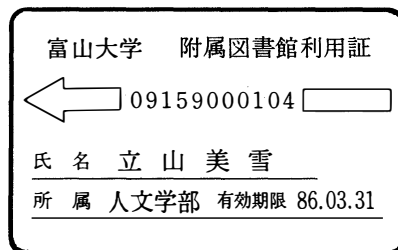
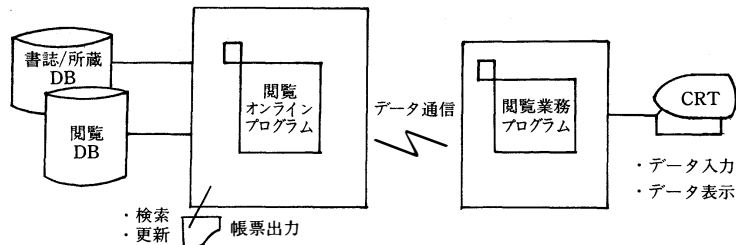


図2 利用者IDカード



(イ) 閲覧システム概念図



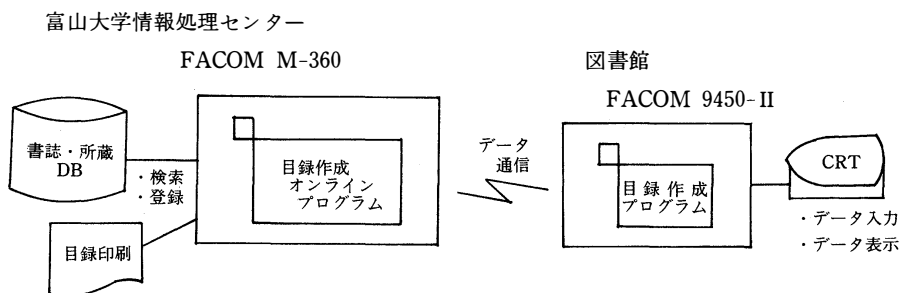
このシステムの稼動により、利用者は手書きする必要がなくなり、利用者IDカードと貸出図書を出納台に提出し、OCRハンドスキャナーで利用者IDナンバーと図書IDナンバーを読み取り、ディスプレイ画面の確認で貸出業務が終了する。また、返却は図書だけ出納台に提出し、OCRハンドスキャナーで図書IDナンバーを読み取り、ディスプレイ画面の確認で返却業務終了となり、窓口業務の能率増進、スピードアップとなった。

(2) 目録作成システム

(ア) 概要

昭和60年4月より整理する図書については、和書はILIS外部マークユティリティによりJAPAN/MARCを入力し、それを利用して整理される外、JAPAN/MARCにないものは、「日本目録規則・新版・予備版」によりオリジナル入力され、洋書は「英米目録規則第2版」に準拠し、LCカードを参考にして端末より入力し、書誌・所蔵データベースを形成して行く。また、資料の分類はNDC6版から8版に切替えた。形成データベースは、閲覧管理システム、受入システム、目録検索システムに利用される。

(イ) 目録作成システム概念図



VI. 文献情報センターとの接続について

学術情報システムの中
枢機関として設置されて
いる東京大学文献情報セ
ンター（61年4月から学
術情報センター）と昭和
61年3月に接続し、4月

(3) 目録検索システム

(ア) 概要

目録作成システムで入力されたデータ
を利用者が検索値を入力することによ
って目的とする資料の書誌・所蔵を調べる
検索システムである。システム運用開始
時より従来の閲覧目録はそのままにして、
初期データ入力図書5万件分、および60
年4月以降整理された図書が端末からの
オンライン検索ができる。端末画面上の
検索項目（和洋共通）に書名、著者、出
版者、書名キーワード（分かち書きした
書名の読みから抽出したキーワード）、
著者キーワード（分かち書きした著者の
読みから抽出したキーワード）、NDC、
ISBN、JP ナンバー、受入番号を入力す
ることによって該当する資料の書誌・所
在情報が検索できる。従来は閲覧用に辞
書体目録を作成していたので膨大なカー
ドのヘディング打込み、および線込み作
業があったが、それもなくなり仕事の合
理化になり、このシステムを利用して密
度の濃い検索ができるようになった。

から利用を開始する予定である。

当面はセンターシステムを利用して各種の
MARC 類や総合目録を使って他の参加館と
共同目録を作成し、それを共用することによ
り整理作業の能率化を図るとともに、各国で
出版されている図書や雑誌の書誌情報及び他
大学の所蔵状況をオンライン検索により状況
を知ることができる。さらに文献複写や相互
貸借の依頼・受付をオンラインで行い、各種
のデータベースを検索して各国で発表された
あらゆる分野の論文や記事についての情報検
索が可能となり資料の収集・提供を正確で迅
速に行うことができるものと考えている。

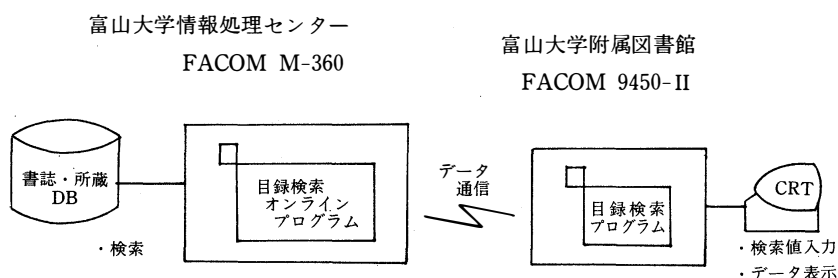
VII. おわりに

本学図書館では、図書館システムパッケー
ジである ILIS (Integrated Library Informat
ion System) を使い、固有処理を追加してシ
ステムの構築を行ってきたので、比較的短期
間でシステムを立ち上げることができた。

現在閲覧管理、目録作成、目録検索の運用
と雑誌管理の開発を行っている。今後、基本
方針に沿って図書管理、ILL、情報検索等の
システム開発を進めて行く予定である。

図書館の電算化に実際取り組んでみると、
予想外の処理が多く研究会、情報の収集、他
大学の視察等を通じて、事前に問題点を洗い
出して整理しておくことの
必要性を痛感させられた。

(イ) 目録検索システム概念図



全国国立大学大型コレクション案内 (昭和60年度)

このコレクションは、各国立大学が文部省に申請して購入したものであります。

これらの図書は、学内外研究者の共同利用に供する条件になっています。

昭和53年度から昭和59年度に購入された図書については、「書香」第2号及び6号に掲載してあります。

〔国外図書〕

大学名	資料名
北海道	ベルンシュタイン・コレクション
岩手	英国判例集 1220—1865
東北	19世紀英国下院議会文書 1801—1900
山形	近代中国史料叢刊正編
千葉	イギリス議会制定法集及び関係資料集
東京芸術	音楽学位論文集
新潟	西洋古典叢書 全997巻
金沢	国連条約集
名古屋	リトルトン・コレクション
京都	20世紀初頭英国下院議会文書集 1901—1921
大阪	ロバート・オーウェン・コレクション
大阪外国語	アラブ、イスラム・アフリカ言語・文化コレクション
兵庫教育	教育学コレクション
神戸商船	イギリス海軍省の海図
和歌山	イギリス産業革命期における都市衛生とその改善
島根	景印文淵閣四庫文庫
岡山	18—20世紀初頭フランス社会経済思想史コレクション
山口	ギリシャ・ラテン教父全集
高知	ソ連・東欧に関する経済・法律資料集
福岡教育	教育行政学・教育組織論研究論文集
九州	ラテン金石碑文大成 ラテン文書シリーズ

なお、図書の内容・閲覧を希望される場合は、参考係へお尋ね下さるようお願いいたします。

大学名	資料名
長崎	ドイツ教育文献コレクション 1750—1870
鹿児島	海洋社会科学学位論文コレクション
琉球	中国方志双書 第三期

〔国内図書〕

北海道教育	労働省資料労働運動史 S.20—52
図書館情報大学	百万塔及び自心印陀羅尼
東京	国策研究会文書
東京学芸	双六コレクション
京都教育	師範学校史・各教育史和文コレクション
愛媛	通産省工業統計表

———— 図書館関係会議 ————

(昭和60年10月～昭和61年3月)

昭和60年度北信越地区国立大学附属図書館

研修会

期 日 昭和60年11月8日
場 所 金沢大学附属図書館

第4回北信越地区国立大学図書館協議会ネッ

トワーク検討委員会北陸部会

期 日 昭和60年11月12日
場 所 金沢大学附属図書館

昭和61年度外国雑誌に関する打合せ会

期 日 昭和60年11月12日
場 所 金沢大学附属図書館

昭和60年度北信越地区国立大学附属図書館

事務(部課)長会議

期 日 昭和60年11月21日～22日
場 所 長岡技術科学大学附属図書館

———— 図書館関係人事 ————

(昭和60年10月～昭和61年3月)

採 用

60. 10. 1 経田愛美(学術情報係)

併 任

60. 10. 1 時沢 貢(工学部教授)
工学部分館長の併任を終了

配置換(館内)

60. 10. 1 山出 繁(閲覧係長)
工学部分館係長より
" 京藤 貫(学術情報係長)
閲覧係長より
" 土田敏雄(学術情報係)
参考係より
" 佐野久子(閲覧係、工学専門
図書室)
工学部分館係より
" 三村紀子(閲覧係、工学専門
図書室)
工学部分館係より

